

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1622
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	学校基本調査事業		
根拠法令等	統計法施行令 学校基本調査規則		A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし	

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	市内の小中学校、幼稚園、専修学校、各種学校に
手段	学校に関する調査を依頼し、集計作業をすることによって
想定する成果	学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにする。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
調査件数	25	25	25

成果指標

成果指標名	調査件数	
成果指標の説明	調査件数	

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	25件
	実績	25件	25件	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	17	14	14
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,689	1,667	1,698
財源内訳	国			
	県	12	12	12
	市債			
	その他			
	一般財源	1,677	1,655	1,686

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	県から依頼どおり進捗している。
経済効率性	3	3	投入された予算は少額であるが、十分な成果をあげている。
事務効率性	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・13年度までは、民間依頼者に対して若干の報償費が予算化されていたが、14年度から廃止とした。

今後改善すべき点

--

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1622
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	教育委員会運営事業		
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 地方自治法 蒲郡市教育委員会会議規則		A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし	

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	教育委員会を
手段	蒲郡市教育委員会会議規則に則り、適正かつ円滑に運営することによって
想定する成果	心豊かな教育の充実を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
教育委員の数	5人	5人	5人
定例教育委員会等開催数	17回	15回	15回
議題件数	34件	21件	30件

成果指標

成果指標名	定例教育委員会等開催数	議題件数
成果指標の説明	定例教育委員会等開催数	議題件数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	15回
	実績	17回	15回	-
成果指標	計画	-	-	30件
	実績	34件	21件	-
事業費	事業費	2,416	2,623	2,597
	人件費	7,522	7,437	7,580
	(人数)	0.9	0.9	0.9
	合計	9,938	10,060	10,177
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	9,938	10,060	10,177

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	教育行政が順調に進んでいる。
経済効率性	3	3	投入された予算に十分見合った成果をあげている。
事務効率性	3	3	投入された人員に十分見合った成果をあげている。
必要性	3	3	地方自治法第180条の5 第1項第1号で必置機関となっている。
小計	12 / 12 満点中	12 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	昭和31年から蒲郡市教育委員会傍聴人規程が施行され、規程の範囲内で、傍聴しようとする者は傍聴することができる。
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

<p>・すべての面において、市内の有識者である教育委員の果敢な意見をいただき、蒲郡の教育の充実を図っている。</p>
--

今後改善すべき点

--

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1622
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	教育表彰事業		
根拠法令等	蒲郡市教育表彰規則		A法令	B条例	C規則
			Dその他	Eなし	

総合計画での位置付け 基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

事務事業の内容

対象	蒲郡市教育の振興発展に貢献し、その功績顕著な者に対して
手段	表彰する制度を維持・運営することによって
想定する成果	被表彰者の名声・名誉を称え、もって更なる教育の振興を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
被表彰者数	2人	0人	4人
報償費(千円)	41	-	80
被表彰者	青山建一 鈴木殖夫	-	-

成果指標

成果指標名	被表彰者数
成果指標の説明	被表彰者数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	4人
	実績	2人	0人	-
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	103	0	158
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	1,775	1,653	1,842
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,775	1,653	1,842

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	1	1	残念ながら該当する被表彰者がいなかった。
経済効率性	1	1	投入された予算にあまり見合った成果をあげていない。
事務効率性	1	1	投入された人員にあまり見合った成果をあげていない。
必要性	3	3	教育委員会が実施すべき事業である。
小計	6 / 12 満点中	6 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	6 / 12 満点中	6 / 12 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	教育の分野において、優れた功績や実績をおさめた人を正当に評価し、それを奨励する制度として必要な事業である。
------	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・第1回が昭和42年、第2回が昭和54年、これ以降毎年表彰してきたが、平成12年から該当者がいないときは、先送りとした。
- ・今までは、表彰式への出席者は本人のみであったが、平成13年から内助の功を重んじ、配偶者同伴とした。

今後改善すべき点

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1622
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	小学校就学援助及び就学奨励事業				
根拠法令等	学校教育法 就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律等		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け
基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育
------------------	------

事務事業の内容

対象	蒲郡市立小学校在籍の児童の保護者に対して
手段	経済的な理由によって就学困難な児童の保護者に必要な援助を与え、また、特殊（適性）学級に通う児童の保護者の経済的負担を軽減することにより
想定する成果	義務教育の円滑な実施に資するとともに、特殊教育の普及奨励を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
援助等対象者数	264人	292人	284人
蒲郡市立小学校在籍児童数	5,022人	4,906人	4,846人
事業費（千円）	5,704	5,906	6,869

成果指標

成果指標名	援助（奨励）率	一人当たりの援助（奨励）額
成果指標の説明	援助対象者数 / 蒲郡市立小学校在籍児童数 × 100	事業費 / 援助等対象者数

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	5.9%
	実績	5.3%	6.0%	-
成果指標	計画	-	-	24
	実績	22	20	-
事業費	事業費	5,704	5,906	6,869
	人件費	2,507	2,479	2,527
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	8,211	8,385	9,396
財源内訳	国	1,622	1,514	2,038
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,589	6,871	7,358

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	制度が市民にも浸透し、該当者の件数が増えた。
経済効率性	3	3	蒲郡市就学援助費事務取扱要綱、特殊教育就学奨励費負担金等及び要保護及準要保護児童生徒援助費補助金交付要綱に沿って援助・奨励し、大きな成果をあげている。
事務効率性	1	1	毎年対象が増える傾向にあり、短期間に申請から認定まで行うのは大変である。対象者も複数年継続するため、管理システムなど導入し、事務効率を図る必要がある。
必要性	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報がまごおり等を活用し、啓発に努めた。
--

今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理システムなどを導入し、事務効率を図る必要がある。
--

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	教育委員会	庶務課	内線等	1622
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	中学校就学援助及び就学奨励事業				
根拠法令等	学校教育法 就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律等		(A)法令	B 条例	C 規則	(D)その他	E なし

総合計画での位置付け 基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	学校教育

事務事業の内容

対象	蒲郡市立中学校在籍の生徒の保護者に対して
手段	経済的な理由によって就学困難な生徒の保護者に必要な援助を与え、また、特殊（適性）学級に通う生徒の保護者の経済的負担を軽減することにより
想定する成果	義務教育の円滑な実施に資するとともに特殊教育の普及奨励を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
援助等対象者数	161人	165人	150人
蒲郡市立中学校在籍生徒数	2,747人	2,720人	2,582人
事業費（千円）	7,001	7,612	7,202

成果指標

成果指標名	援助（奨励）率	一人当たりの援助（奨励）額
成果指標の説明	援助対象者数 / 蒲郡市立中学校在籍生徒数 × 100	事業費 / 援助等対象者数

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	5.8%
	実績	5.9%	6.1%	-
成果指標	計画	-	-	48
	実績	43	46	-
事業費	事業費	7,001	7,612	7,202
	人件費	2,507	2,479	2,527
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	9,508	10,091	9,729
財源内訳	国	1,682	1,551	1,938
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	7,826	8,540	7,791

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	制度が市民にも浸透し、該当者の件数が増えた。
経済効率性	3	3	蒲郡市就学援助費事務取扱要綱、特殊教育就学奨励費負担金等及び要保護及準要保護児童生徒援助費補助金交付要綱に沿って援助・奨励し、大きな成果をあげている。
事務効率性	1	1	毎年対象者が増える傾向にあり、短期間に申請から認定まで行うのは大変である。対象者も複数年継続するため、管理システムなど導入し、事務効率を図る必要がある。
必要性	3	3	市が実施すべき事業である。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

- ・広報がまごおり等を活用し、啓発に努めた。

今後改善すべき点

- ・管理システムなどを導入し、事務効率を図る必要がある。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載